



# 上菅田中学校だより

第9号 令和2年2月17日発行

発行責任者 校長 関 恭雄

上菅田中学校 学校教育目標

- ◆学びを深め、実践力を養う
- ◆互いを認め、自分を伸ばす
- ◆豊かな心と健康な体をつくる
- ◆地域の一員、国際社会の一員であることを自覚し、行動する

## 学校評価アンケートへのご協力ありがとうございました

今年度も残り 40 日余りとなりました。学校では、生徒や保護者の皆様にも協力していただいた学校評価アンケートの結果をふまえ、学校としての自己評価や次年度の改善へ向けた計画作りを進めています。今回の学校だよりでは、学校の教育活動の中核となる学習指導と学習評価に関するアンケート結果に焦点を絞<sup>しぼ</sup>りご報告します。

### 生徒アンケート結果 (全学年生徒 275 名集計)

(A=そう思う、B=ややそう思う、C=ややそう思わない、D=そう思わない)

授業はわかりやすく充実したものになっている

| A     | B     | C     | D    | 無答   |
|-------|-------|-------|------|------|
| 22.9% | 53.8% | 20.0% | 2.5% | 0.7% |

先生は学習で生徒が努力したことを認めてくれている

| A     | B     | C     | D    | 無答   |
|-------|-------|-------|------|------|
| 32.0% | 51.3% | 12.4% | 1.1% | 3.3% |

私は授業に意欲的に取り組んでいる

| A     | B     | C     | D    | 無答   |
|-------|-------|-------|------|------|
| 26.2% | 49.1% | 19.6% | 4.0% | 1.1% |

私は家庭で毎日学習するようにしている

| A     | B     | C     | D     | 無答   |
|-------|-------|-------|-------|------|
| 25.5% | 36.7% | 23.6% | 13.5% | 0.7% |

### 保護者アンケート結果 (全学年保護者 189 名集計)

(A=そう思う、B=ややそう思う、C=ややそう思わない、D=そう思わない)

教科担任は授業がわかりやすく充実したものになるように努めている

| A     | B     | C     | D    | どちらともいえない | 無答   |
|-------|-------|-------|------|-----------|------|
| 22.2% | 54.5% | 11.1% | 4.2% | 7.4%      | 0.5% |

学校は学習に対する評価を適切に行っている

| A     | B     | C     | D    | どちらともいえない | 無答   |
|-------|-------|-------|------|-----------|------|
| 32.3% | 49.2% | 12.2% | 2.6% | 2.6%      | 1.1% |

生徒は授業に意欲的に取り組んでいる

| A     | B     | C     | D    | どちらともいえない | 無答   |
|-------|-------|-------|------|-----------|------|
| 28.9% | 52.4% | 12.3% | 2.7% | 2.7%      | 1.1% |

生徒は毎日、家庭学習に取り組んでいる

| A     | B     | C     | D    | どちらともいえない | 無答 |
|-------|-------|-------|------|-----------|----|
| 27.5% | 38.1% | 22.8% | 7.9% | 3.7%      | 0% |

アンケート結果を見ると、本校の学習指導に関しては、授業改善の取り組みと主体的に学習に取り組む態度（家庭学習への取り組みも含む）の育成に一層の努力が必要だと感じます。アンケートの自由記述欄には「もっとていねいにわかりやすく教えてほしい…（生徒）」「教科の先生によって教え方にバラつきがあり、本当に教える気があるのか疑問に思います…（保護者）」「授業中におしゃべりがあるようなので、活気あふれる内容にしたり…面白い授業になれば、皆、意欲的に参加すると思う（保護者）」「多くの先生が授業の中で成績のことを使って生徒をコントロールしているようなのが気になります…（保護者）」という意見も寄せられています。

学習評価は観点別にA° A B C° Cで評価し、観点別評価を総括して5, 4, 3, 2, 1で評定しています。学習評価の目的は生徒の学習改善と教師の授業改善です。ところが、生徒は「学習評価＝成績＝高校入試の内申点」という数字の部分にこだわってしまいがちです。また、教師の側が、「授業内容や学習の進め方の妥当性を検証し授業改善に生かす」という学習評価本来の目的から離れた活用の仕方をしてしまえば、わからない授業、工夫の足りない授業をしながら、思わしくない評価結果を生徒の側だけに責任転嫁するような学習指導になってしまいます。まずは、教師の側が学習評価を生かした授業改善を進めること、そして生徒に学習評価の正しい意味や生かし方を伝えていくことが大切です。本来もっとも重要な学習評価は観点別学習状況評価ですが、評定の数字を選抜資料の一つとして使用する高校の入試制度が変わらない間は、5, 4, 3, 2, 1への拘りを払拭するのは難しいかもしれません。だからこそ、何度も繰り返しますが、教師の側が学習評価を生かした授業改善を進めながら、生徒が自らの学びを振り返って次の学びに向かうことができるようにするという学習評価の正しい意義を生徒や保護者に理解してもらうことが重要です。

そして、本校の課題の一つである「家庭学習の習慣化」についても、生徒が家庭学習に主体的に取り組もうとする意欲を持てる何らかの仕掛けを学校（教師）も考える必要がありそうです。今年度の反省を生かし、新しい学校教育目標の下、新しい教育課程の編成作業や日々の学習指導を通して、学習指導と学習評価の一体化および授業と家庭学習との連動強化を目指していきたいと思えます。

#### 横浜市学校保健優良学校受賞

昨年度の保健管理部門での受賞に続き保健組織活動部門での連続受賞となりました。



#### 第62回 横浜市中学校・義務教育学校 個別支援学級合同学芸会

1月31日西公会堂で開催された合同学芸会で、本校5組の生徒たちが練習を積み重ねてきたYSAKOIソーラン踊りを披露しました。迫力ある演技に圧倒されました。応援に来て下さった保護者の方々、米良先生やSSW（スクールソーシャルワーカー）の菊地先生も大感動の発表でした。

